

(1) 墨訳(F4/「校正」→「墨訳」)

F4を押すと、画面は墨訳(カタカナ)表示になります。
点字の行の間隔が広がり、その間に墨訳をした結果が表示されます。

墨訳は100%正しいとは限らない。

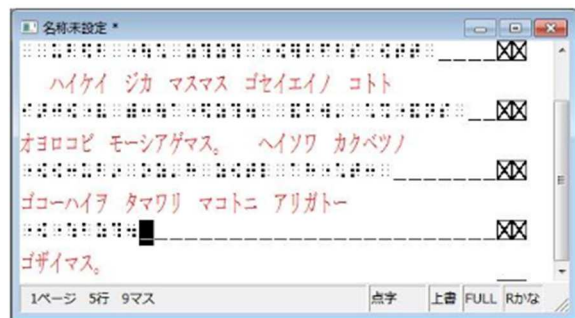


図2-9 墨訳表示

入力した点字にミスがないか確認して下さい。ただし、**墨訳は100%正しいとは限りませんので最終確認は点字で行って下さい。**

ミスに気付いたら、この表示のまま、入力・修正を行うことができます。

修正すると同時に、墨訳の結果も自動で更新されます。

墨訳をやめて通常の画面に戻すには、F5 を押します。

「点字編集システムマニュアル」より

挿管。ICU。

東日本大震災3・11

ソーカン。 ICU。

ヒガシ ニホン ダイシンサイ 3.11 → ヒガシ
ニホン ダイシンサイ 3.11

10 m² 24 cm³ 15℃

10m2 24cm3 15de

二酸化炭素 CO₂

2サンカ タンソ Co#

コラム

原文との対応？ 墨訳表示に惑わされないで！

点訳では、原文との対応、原文に準じて書くということが大切ですが、それは、パソコン画面で墨訳表示させた場合の記号の対応とは異なります。

点字編集システム（BES）では、F4キーで点字画面を墨訳画面に切り替えたとき次のように表示されます。

これを、原文で<>があれば、第2カギを用いなければならない、原文で【 】があれば、第3指示符を用いなければならない、原文で「:」があれば、第2小見出し符を用いなければならないと勘違いする初心者が目立ちます。画面の墨訳表示に惑わされることがないように指導しましょう。

「点字編集システム」での画面表示の例

第1カギ	⠠ ⠡	— —
第2カギ	⠠ ⠡	< >
ふたえカギ	⠠ ⠡	『 』
第2カヅコ	⠠ ⠡	{ }
二重カヅコ	⠠ ⠡	《 》
第1指示符	⠠ ⠡	‘ ’
第2指示符	⠠ ⠡	“ ”
第3指示符	⠠ ⠡	【 】
第2小見出し符	⠠ ⠡	:
文中注記符	⠠ ⠡	*